

2月21日：VN 指数は利益確定売りに押され、横ばいで推移 (VN-Index +0.00%)

- VN 指数はビングループ銘柄と不動産セクター全般の調整により、基準値を下回って取引を開始した。
- 銀行セクターは上昇トレンドを再開し、一時的に市場全体をプラスに転じさせた。しかし、この動きは一時的で終わり、利益確定売りに押されたことで指数は徐々に下落していった。
- 後場には買い戻しの勢いが強まり、特に化学セクターが市場全体の上昇に貢献した。
- ただ、この間に何度も売り買いが生じ、投資家心理が依然として慎重であることを示していた。
- 239 銘柄が上昇、262 銘柄が下落、60 銘柄が変わらずと、売り方がやや優勢となった。
- 流動性は後場に増したおかげで、7.1%増の 22.5 兆ドンとなった。

VN30 指数は錯綜 (VN-30 +0.03%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、13 銘柄が上昇し、17 銘柄が下落となった。
- BCM (+3.13%)、FPT (+1.53%)、TPB (+4.00%)、STB (+2.61%)、VRE (+1.96%) が目立って上昇した。
- しかし、VIC (-2.58%)、VHM (-2.49%)、MWG (-1.50%)、HPG (-1.37%)、MSN (-1.16%)、GAS (-1.15%) によって相殺された。

セクター・個別株の動き

- STB (+2.61%) はフォンフーIP の競売に成功し、7 兆 9,000 億ドンを獲得したと報じられ急騰。このニュースは後に、2024 年の銀行に対する期待であることが明らかになった。

- PNJ (-0.68%)は1月、売上高3兆8,290億ドン（前年同期比7.3%減）と純利益2,450億ドン（同18.6%減）を記録。同社は、今年の特休が2月にあったことを減益原因としている。
- 外国人投資家は本日、340億ドンの買い越しとなった。MSB (+1.60%)とSTB (+2.61%)が最も買い越された一方、HPG (-1.37%)とMWG (-1.50%)は最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。